

活動報告書

1 テーマを選んだ理由

昨年は、東安居地区全体の地理的なものを中心に探検しました。その結果をもとに、今年は、下市町にあるため池のいきものを観察してみようと思います。また、その池は山からの水がためられており、あまり人間にはよごされていないので、その水質と地区内を流れる4つの川（日野川、足羽川、狐川、底喰川）の水質と比べてみたい。（図1）

2 活動の記録

7月23日（水）

ぼくたちは、とまと児童館から西体育館の横をとおって行きました。とちゅうは、田んぼがあり、村のまわりには、大きなビニールハウスがいっぱいありました。ビニールハウスでは、とまとやほうれんそうが栽培されています。日野川をわたり、下市の村のはずれの山のところにめざす池がありました。池には、あひるが2ひきいました。そして、一面草がういていました。まわりは、木とか竹が多くて、せみがないていて、虫が多くてびっくりしました。



この池は、大正のころ、農業のために人工的につくられたそうです。昔の村人の飲み水にもなっていた谷川の水をためるようになっています。今は農業用水として使わなくて、防火水そうであり、雨がたくさんふつた時のダムの役割をしているそうです。

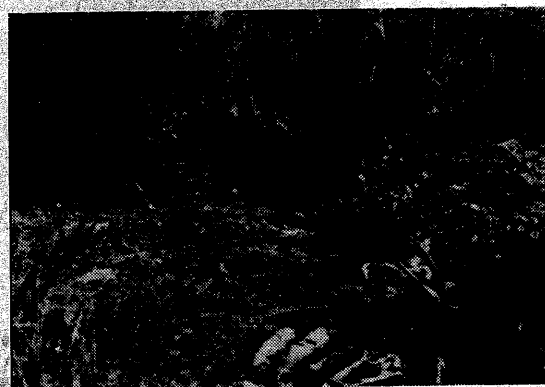


図 1

● 水質調査地点

ひがしあごの環境しりべ

とまとたんけんたい

7月30日(水) 8月20日(水)

池の中の生きものや植物をくわしくしらべてみるため、虫とりあみ、つりざお、ながぐつなどを準備して池に行きました。

<ひし>

池のほとんどが一面ひしでおおわれています。池の少し深い所にはえる植物で、水底の泥の中に根をおろし、細長い茎の先にひし形の葉が多数集まって水面にうかぶ。うきぶくろがついていて、実も小さなものがついていた。



ひし

<しょうぶ>

池に山水が注ぐあたりに群生している。根が太く、その下には、こまかな根がたくさんついている。根と葉のねもとがまがっていて、葉が特に長い。



しょうぶ

<みくり>

くきの先にくりみみたいなものがついている。河川、水路、湿地に群生する多年生草であるが、河川改修や湿地の埋立てによって各地で生育地が破壊され、減少している。



みくり

ミクリ

<いぐさ>

原野の湿地にはえる多年生草。地下に根けいが横たわり、節間は短く、地上けいが多いが多数かぶだちとなって立つ。茎は細長い円柱状で高さ30～60cmになる。葉は茎の基部をさや状につつま、目立たない。

<カンガレイ>

池・沼や川べの水中にはえる多年草。高さは50cm～1mになり、地下茎をひく。くきは直立し、緑色の三角形で根もととは三角状のつつがたの葉でつつまれる。

<アリジゴク>

ウスバカゲロウの幼虫が、かわいた土や砂に巣をつくって生活する。

<くろあげは>

ふつうのあげはよりも大きく、黒い羽をしていた。

<イトトンボ>

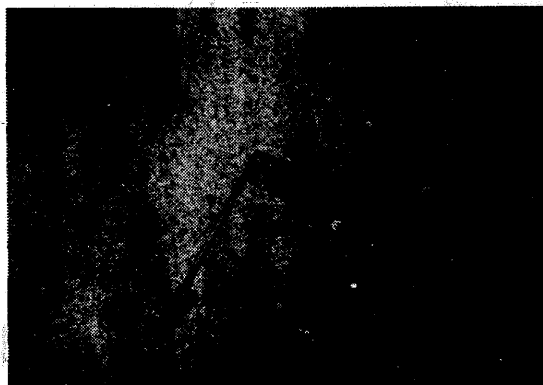
体がとても細く、小さかった。たくさんいた。

<ヤゴ>

小石をめくったらヤゴがいました。

<ゼニタナゴ>

ゼニタナゴをつった。とても太っていて、ひいたときの力が強かった。



カンガレイ



くろあげは



ヤゴ



ゼニタナゴ

<タナゴ>

ほっそりしたタナゴがつかれた。

<アメリカザリガニ>

パイプの中に大きいアメリカザリガニがはいっていた。

<ヒル>

黒いのや、緑のすじ入りが多数いた。



タナゴ



アメリカザリガニ

8月27日(水)

山と池の水のとう明度とパックテスト
を試みた。

とう明度を調べるのに使った材料は、
1mのとう明パイプにメモリを付けて、
ゴムのふたにはX印をつけ、水を上まで
入れて、X印が見えはじめるまで水を少
しずつ出していき、その深さをきろくす
る。

パックテストは水温により、一定時間
待って、色をきろくする。



9月13日(土)

地区内を流れる四河川と、池の水、山の水を比べる。(図1)

	水温	色	バックテスト	透明度	その他
池	30℃	うす茶色	6	43cm	
山の水	22℃	とうめい	2	1m以上	冷たくてとてもきれい
狐川	29℃	はいいろ	10	4cm	くさい、川底がきたない。
足羽川	28℃	とうめい	4	74cm	
底喰川	28℃	うす茶	8	34cm	ごみん工事があって、水がくめなくて大変だった。
日野川	水をくめそうなところがなく、できなかった。				

池の水は、山のきれいな水が流れこんでいるのに、とてもきたない。きつね川やそこばみ川ほどではないけれど、足羽川よりきたなかったのでおどろいた。

3 メンバーの感想

あついでたいへんでした。つかれました。ジュニアパトロールの友だちとじっけんができて、楽しかったです。

堀 桃子



とってもたのしかったです。大きなはちのすがみつかって、とてもびっくりしました。しゃしんもとりました。

大村 瑞季

池の水は、とてもきたないということがわかった。もっときれいな池にしたいと思った。

鈴木 里奈

植物の名前を調べるのがたいへんだった。図書館へ行って図かんをみたりしたが、名前がなかなか決まらなかった。

牧野 志穂

はじめて池に行ったとき、まわりは木とか竹が多くて、せみのなき声や、たくさん
さんの虫にびっくりしました。

成瀬 勉

スケッチはとてもむずかしかった。

西村 夏樹

魚がつれて、ほんとにうれしかった。

寺尾 貴浩

昆虫のかかりをしました。もっと、いろんな虫がいたけど、つかまえられな
かった。

倉内 勇気

4 指導者の感想

あの池は、きっときれいだろう。地区民のいこいの場にすれば、などと夢みた
いなことを考えていたのが、大きな見当ちがいでした。きれいな水が少量流れこ
んでいても、どんよりたまっている水がどんどん古くなって、今の状態になった
ように思われる。

予定した日に雨がふつたりして、長時間の活動は児童館にとっては、少し苦し
かった。メンバーがそろいにくいのは、去年も同様だったが、児童館活動の継続
化の一因になってほしいので、今後もがんばりたい。

5 その他

「ひがしあご かんきょうカレンダー」をメンバーでつくっています。

